

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

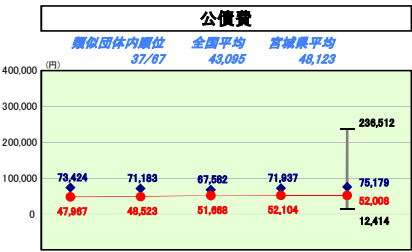
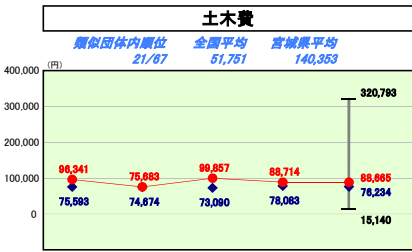
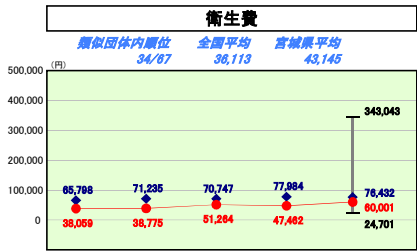
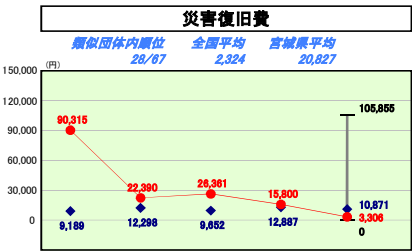
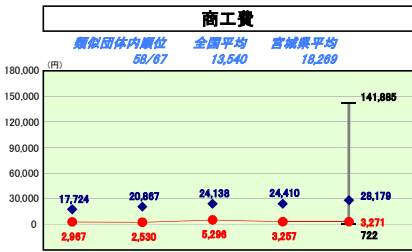
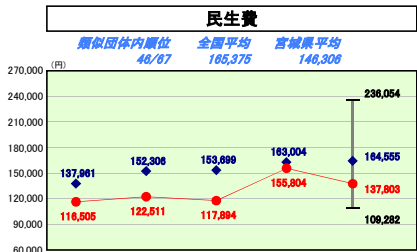
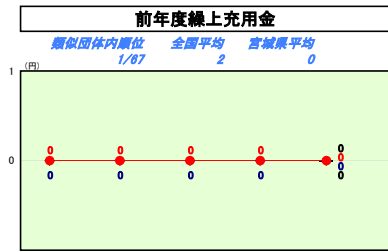
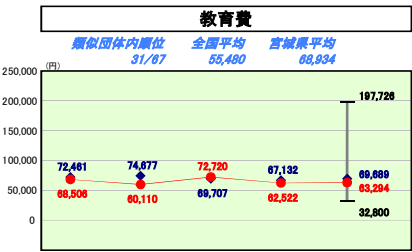
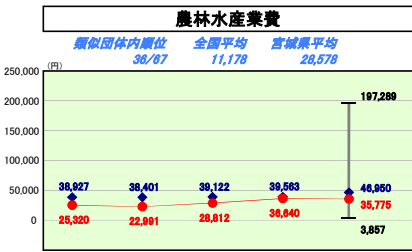
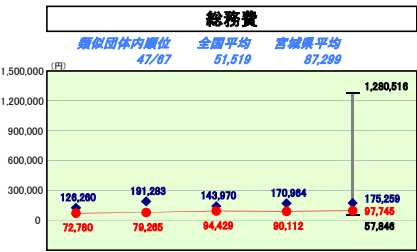
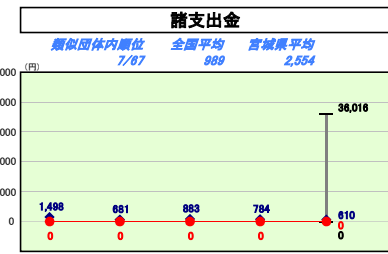
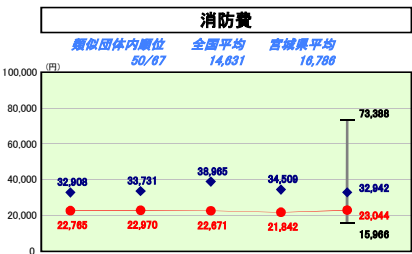
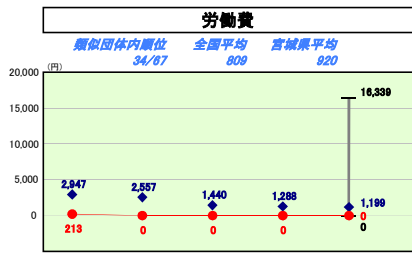
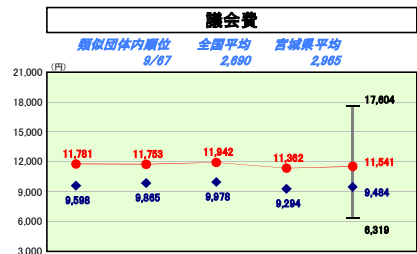
平成29年度

宮城県大郷町

人口	8,235人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	8,180人(H30.1.1現在)	実質赤字率	-%
面積	82.01km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.8%
歳入総額	5,102,471千円	将来負担比率	11.1%
歳出総額	4,747,105千円	市町村類型	H25 II-2 H26 II-2 H27 II-2
実収支	287,805千円	(年度毎)	H28 II-2 H29 II-2
標準財政規模	2,903,241千円		
地方債現在高	4,431,018千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 目的別歳出の分析値

民生費については、住民一人当たり137,803円となっている。平成25年度と比較すると21,298円(18.3%)増、前年度と比較すると18,001円(11.6%)減となっている。前年度比減は児童館建設の完了等によるものである。  
 総務費については、住民一人当たり97,745円となっており、平成25年度と比較すると24,965円(34.3%)増、前年度と比較すると7,633円(8.5%)増となった。前年度比増はふるさと納税や各種選挙に関する費用の増、住民バスの購入による増が主な要因と考えられる。  
 教育費については、住民一人当たり63,294円となっており、平成25年度と比較すると5,212円(7.6%)減、前年度と比較すると772円(1.2%)増となった。前年度比増は文化会館外壁塗装工事が主な要因である。  
 災害復旧費については、平成23年度に東日本大震災による災害復旧事業費の支出が多額だったため、平成25年度と比較すると住民一人当たり災害復旧費が87,009円減となった。前年度比でも12,494円減となっている。  
 土木費については、住民一人当たり88,665円となっており、前年度とほぼ同額となっている。前年度と比べて町道舗装改良工事費等が減額となったが、橋梁補修工事費及び町営住宅敷地造成工事費が増額となったことが要因と考えられる。